

REFORPAC 25: 第374装備即応中隊 空中投下作戦に向け物資を準備
REFORPAC 25: 374 LRS prepares cargo bundles for airdrop operations

July 22, 2025

By Airman 1st Class Cayla Hunt
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1)横田基地で7月14日、「REFORPAC 25」演習で空中投下する物資の固定作業を行う第374装備即応中隊の戦闘機動技師マディソン・シンクレア上級空兵。

REFORPACは、過去数十年で初めて実施される空軍省レベルの大規模演習の一環で、計350機以上の統合部隊および連合軍の航空機と、12,000名以上の要員が、3,000マイル(約4,828キロ)以上に渡る範囲の50以上の拠点で展開される。



(写真2)「REFORPAC 25」演習で、投下用物資に取り付けられたパラシュート。この演習は、空軍の能力をインド太平洋地域へ迅速かつ大規模に展開し、さらに6つ以上のタイムゾーンを跨いで機動的な戦闘運用を指揮・統制する力を実証することを目的としている。



(写真3)「REFORPAC 25」演習の空中投下任務に向けて、横田基地の格納庫内に準備された投下用物資。

